

★ 今回の教組ニュース ★

期末・勤勉手当支給……………1
県スポーツ大会（陸上）……………2
湘南バレー決勝大会……………3

震災ボランティア……………4
産休・育休者応援セミナー
再任用教職員学習会・交流会
スキースノボツアー……………5
執行部のつぶやき

12月8日 期末・勤勉手当が支給されます！

	教職員 支給額		再任用教職員 支給額	
12月期末手当	給料×1.375		給料×0.80	
12月勤勉手当 区分	成績率	支給額	成績率	支給額
特に優秀	97.5%	給料×0.975		
優 秀	90.5%	給料×0.905	42.75%	給料×0.4275
良 好	83.5%	給料×0.835	39.25%	給料×0.3925
良好でない	78.5%	給料×0.785	36.75%	給料×0.3675

※再任用教職員の人事評価の勤勉手当への反映は、12月期から開始

勤勉手当の成績率に係る評価結果の

開示請求・苦情申出ができます！

評価結果に対する開示（十分な説明を求める）や苦情申出（説明を受けた後も納得がいけない場合に申し出る）をすることができます。これは、私たち学校現場で働く者たちが、人事評価によって不利益を受けないようにするため、恣意的な運用がされないよう検証するために必要な仕組みであり、人事評価の公平性・公正性を求める仕組みでもあります。人事評価に関しての苦情相談は通年でできますが、勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示請求・苦情申出には、期間が決められています。

まず、決められた期間内に開示請求をして、説明を受けます。

12月8日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示期間

2017年12月8日（金）から12月15日（金）まで

※学校長に対して評価結果の開示を請求します。



それでも納得がいけない場合には、苦情申出をすることができます。

12月8日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果に対する苦情申出期間

2017年12月8日（金）から12月28日（木）まで

※教育委員会に対して苦情申出をします。第3者に立会人を依頼することができます。

湘南教組は、神教組に対して県教委が人事評価結果における検証・改善をはかるよう求めると共に、市町教育委員会に評価者への制度理解及び検証、評価者研修の充実も求めてきました。今後も、人材育成の趣旨の徹底をはかりながら、制度検証の継続や評価者の理解を、神教組とともに県当局に働きかけていきます。

第70回神奈川県教職員スポーツ大会

男子の部/男女総合の部で2連覇優勝!

毎年行われている神奈川県教職員スポーツ大会も、今回で70回目を迎えました。球技の部と陸上の部が隔年で行われていますが、今年度は陸上の部を開催し、湘南からも競技役員等を含めて約90名が参加しました。

神奈川県内の7地区が参加

神奈川県には横浜、川崎、三浦、湘北、中、西湘、湘南の7つの教職員組合があり、それぞれから多くの選手が出場しました。当日は朝の雨から一転、心地のよい気温と天気を迎えられた大会となりました。短距離走、中距離走や走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げなどの各種目で、健闘しました。

ムカデ競争や大縄跳びで団結

陸上は基本的に個人競技ですが、本大会には大縄跳びやムカデ競争などの団体競技があり、声を掛け合い、息を合わせて参加することができました。さらに子どもも参加できる競技として、親子風船運びに加えて今年度はキッズトライアルがとり入れられ、子どもたちが走り方の指導を受けた後に50mを元気に走り抜け、タイムを計測しました。和やかなレースに、会場が笑顔に包まれました。

多くの教職員が参加

部活等で陸上競技の経験が有る無しにかかわらず、多くの若年層、ベテラン教職員や、管理職も参加し、オール湘南でともに出場することができた大会となりました。

湘南の歴史的連覇!

今大会において、湘南は女子の部で3位、男子の部、男女総合の部では一昨年に引き続き優勝することができました。詳しい結果については、中央委員会議案書をご覧ください。課題も様々ありますが、みなさんのニーズにあった企画となるよう、今後も改善をはかりながら運営していきたいと思います。

競技役員、運営委員をしてくださったみなさん、参加してくださった選手のみなさん、本当にありがとうございました。



18人大縄跳び



400mリレー



走り幅跳び



ムカデ競争



親子風船運び





湘南地区バレーボール大会決勝大会

11月19日（日）に湘南教職員バレーボール決勝大会が男子は鎌倉市立玉縄中学校、女子は藤沢市立長後中学校で行われました。男女ともに、決勝大会に駒を進めてきたのは、鎌倉市立御成中学校、鎌倉市立深沢小学校、藤沢市立大鋸小学校、茅ヶ崎市立西浜小学校と4校もありました。男女ともに試合は1回戦から熱戦が繰り広げられ、1本1本が手に汗を握る試合となりました。特に準決勝からの試合は互いに譲らず、長いラリーが何本も見られ真剣な眼差しと熱いものが感じられました。

男子の優勝校は藤沢市の滝の沢中学校でした。ベスト3に茅ヶ崎市の小学校が3校入っていることを考えると茅ヶ崎のレベルの高さを感じます。その中、1回戦の鶴嶺小、準決勝の西浜小、決勝の小出小と茅ヶ崎の学校3校を破っての優勝でした。滝の沢中学校キャプテンからは「昨年敗れた西浜小へのリベンジに成功し、優勝できたことはとても嬉しいです。大きなケガ人が出てしまったことは残念でしたが、一致団結することができ、楽しい1日を過ごすことができました。対戦したチームの皆さん、夕方まで長い時間運営に関わっていただいた皆さん、本当にありがとうございました。来年も頑張りたいと思います」と感想を頂きました。



男子の部 優勝校 藤沢市立滝の沢

女子の優勝校は、見事7連覇を達成した茅ヶ崎小学校でした。8人での出場でしたが安定したバック、確実なセッター、大砲並みのアタッカーとバランスのとれたチームでした。準々決勝の白浜養護（藤沢）、準決勝の大鋸小（藤沢）、決勝の深沢小（鎌倉）と1セットもとられることなく、危なげない試合運びで、優勝を決めました。井上キャプテンから「とにかくボールを落とさなければ誰かが拾ってくれるという信頼関係で結ばれたチームでした。『いつも通り、楽しくやろう!』という合い言葉通り、最後までいい雰囲気ですべての試合ができて、とても嬉しかったです。」と感想を頂きました。



女子の部 優勝校 茅ヶ崎市立茅ヶ崎

	優勝	準優勝	第三位	第三位
男子の部	藤沢市立滝の沢中学校	茅ヶ崎市立小出小学校	茅ヶ崎市立西浜小学校	茅ヶ崎市立今宿小学校
女子の部	茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校	鎌倉市立深沢小学校	藤沢市立六会小学校	藤沢市立大鋸小学校

長い歴史を持つ湘南教職員バレーボール大会ですが、目的は職場のチームワークや人間関係を深めることにあります。今年もすべての試合で選手と応援する人たちが一体となっている姿が見られました。その力はきっと翌日からの教育活動のエネルギーになることと思います。大会に出場したすべての選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。また、大会運営にあたっては会場校の職員の皆さん、準備、片付けにあたっていただいた大会運営役員の皆さん、各校のキャプテンの皆さん、ご協力ありがとうございました。

再任用教職員 学習会・交流会

9月26日(水)、再任用教職員 学習会・交流会を行いました。当日は15名の参加がありました。同じ仕事内容なのに再任用になると賃金が約6割に減ること、年間賃金が臨任より低いこと、再任用は退職金がないこと、再任用に一度なると臨任になることができないこと、異動による環境適応の大変さなど話が出ました。さらに、非常勤の雇用のない8月の保険の切り替えの煩雑さや介助員としての賃金の低さなども話題に上がりました。

仕事内容と賃金の関係や異動のタイミング、制度の複雑さ、情報の少なさなどが大きな負担になることがわかりました。様々な条件を整理し、65歳までの働く環境を考える必要性を感じました。今回の話し合われた内容は、各市町教委や神教組に意見反映していきたいと思います。

産休・育休者応援セミナー

10月28日(土)、産休・育休者応援セミナーを女性部との共催で行いました。当日は、三市一町から女性15名の参加がありました。子育てに関する権利や給与、保育施設等について話をしました。その中で、育児短期時間制度の使いにくさ、待機児童が多い中での入園のしにくさ、幼稚園入園の検討、ファミリーサポートの活用などが話題に上がりました。

気持ちよく出産に臨める職場での雰囲気づくりやフォローアップ、育休からスムーズに職場に復帰するための環境づくり、育休中の方同士のつながりの大切さなどを改めて考えさせられました。今回の話し合われた内容は、各市町教委や神教組に意見反映していきたいと思います。次回は男性の参加やご夫婦での参加もお待ちしております。

第12回震災ボランティア活動

10月14～15日、13名の参加者と共に福島県でフィールドワークとボランティア活動を行いました。1日目のフィールドワークでは、相馬市で教員をされている関谷さんに案内して頂きました。レンタカーに乗り込んで福島市内を出発し、9月に通行止めを解除されたばかりの国道114号線を通って浪江町を目指しました。除染作業が済んだということで開通した道路には、二輪車や歩行者は通行禁止の表示があり、車内の線量測定器からは数値の上昇を示す警告音(?)が鳴り響いていました(道路のみを除染しているため)。海岸近くの浪江町(一部居住制限等が3月末に解除)では、3/11の日付が書かれた黒板が残る浪江中学校、低層部分が津波で破壊されたままの請戸小学校、海岸方向に進むと辺り一面建物が無くなる景色(津波が来た場所には建築許可が下りないため)、時折ぱらつく曇天によりおぼろげに見える第一原発などを見て回りました。一方で4/1に開通した常磐線浪江駅や4校を統合してスタートした小高小学校(南相馬市で4月に通学開始)など、復興に向けて懸命に頑張る地元の方々の思いを感じることもできました。

2日目は午前中に南相馬市の小高区でボランティア活動を行い、午後は途中温泉で疲れを癒し福島駅へ帰ってきました。現地の方の話を聞き、実際に自分たちの目で見て体感した今の福島の様子から、改めて事故の重大さと果てしなく続く影響の大きさを学ぶ機会となりました。また、改めて湘南教組として被災地の方に寄り添い、何ができるかを考えさせられる場ともなりました。

なお、皆様のご厚意によりお預かりした義捐金16万630円は、福島県教組を通して震災遺児基金として寄付させて頂きました。ありがとうございました。



スキー・スノボーツアー

先着40名様 in 富士てんスキー場

2018年1月20日(土)出発

費用1人:5000円!

＜1日リフト券・温泉代・保険代を含む＞
※昼食代・レンタル代は別。バス乗車時に集金。

申し込み方法

締め切り：12月21日(木)～18時

★別紙参加申し込み用紙に必要事項を記入の上、書記局まで提出してください。

(FAX: 0466-82-1638)

執行部のつぶやき ～ともに頑張りましょう～

組合歴はとても長いけれど、恥ずかしながら2年前までは自分の給与がどのような仕組みで支給されているのかもわからなかった組合員でした。

しかしこの執行部の2年間は自分自身の『教員生活革命』に値する位に様々なことを勉強してきました。組合が担っている役割や組合の大切さ、世の中のこと、教育現場の抱えている課題など、本来30数年の教員生活で知っておかなければいけないことを知ることができ、今更ながら視野が広がった気がします。

執行部に来てとても大好きな言葉があります。それは大きな集会などのあいさつで必ず最後に出る言葉「ともに頑張りましょう!!」です。

この言葉を聞くと、いつでも元気が出ます。英語にすると(英語を教えている関係、常に英文に置き換えて考える習慣があります) 'Let's do my best together!' 「できることを一緒になって精一杯やりましょう」という内容です。英語にするとより内容が心に伝わります。昨今の教育環境、世の中の情勢に立ち向かっていくには多くの人が力を合わせていかなければなりません。『チーム学校』という言葉が叫ばれていますが、あえて私は思います『チーム湘南教組 チーム組合』です。組織率の高さを武器にして皆さんで一丸となって様々な課題を乗り越えていきましょう。そして集会等で私を見かけたら、ぜひ声をかけてください。『共に頑張りましょう!!』と。「英語版」でもいいですよ。

